

Youは何しにシドニーへ? ~2018年・夏~

第8期 OG 中村 梓

皆様、ご無沙汰しております。第8期中村です。ゼミやOB・OG会にも中々顔を出せず、この会誌に寄稿するのも現役生以来となってしまいました。環境の変化¹もございましたので、久しぶりに筆を取らせていただきます。

簡単に近況報告致しますと、現在も新卒で入社した銀行に勤めており（何度も辞める辞める詐欺をしますが笑）、札幌支社と川崎支社にて国内法人営業に従事後、昨年5月よりトレーニーとしてシドニー支店の非日系課に在籍しております。本稿では、シドニー生活について書かせていただこうと思います。

当行のシドニー支店は従業員300名を抱え、他拠点と比しても歴史ある大きな拠点です。営業課以外にも市場部門やシステム部門があり、銀行の機能をギュッと凝縮したようなお店と言えいいでしょうか。私の在籍する「非日系課」は、地場企業にコーポレートファイナンスという形でソリューションを提供することがミッションで、お客さまは豪州の名だたる大企業、直属の上司はオージー、40名ほどの課員に対して日本からの派遣行員は自分含めて3名と、まるで外資系企業に転職したかのような職場です。



他社の駐在仲間&カンガルーと、
ゴールドコーストにて（著者は左端）

そんな環境にありますが、私は志望して海外転勤となったわけではありませんでした。英語が得意なわけでも²、他に何か特別なスキルを持っているわけでもなく、国内志向が強かった私にとっては青天の霹靂でした。（今時海外転勤なんて珍しくもない³ののでしょうか…）

当然ながら、そういうメンタリティで着任した為、言語の問題はもちろん、異なるバックグラウンドを持つ人たち（現地採用のスタッフ＝ローカルスタッフ、以後LS）と働くことの難しさに頭を抱える毎日です。商習慣の違いや、豪銀/当行のポリシーや手続の相違、或いは根本的に「価値観」の違いを原因としてLSと意見が対立したり、そもそも意思疎通できなかつたり…。また、私は課内で一番年下かつ役職にも付

¹ できれば結婚報告のページに載りたかったです。嫁にいける日は来るのか。

² 最大の英語経験といえばインゼミの英語論文です。しかも自分ではほとんど英語書いてない。

³ 札幌支社で同じ時間を過ごした同期2人が、私とほぼ同時期にロシアとチリに転勤になりました。何でも良いからとりあえず海外で働きたい方、商社よりも格段に入社難易度の低い当行オススメです。

いていない一方で、日本の本部と拠点を結ぶ役回りにあります。日本人が作ったややこしいルールや業務推進施策をブレイクダウンして、(当行がかなりのコストをかけてヘッドハンティングした) 豪州内でも名の通った営業担当のおじさまたちに、それらを理解して行動してもらうよう働きかけなければなりません。着任して8ヶ月ほど経っても全くスムーズにいかず、悔しいことも辛いことも沢山あります。6年間の社会人経験や、日本で勉強してきたことが全否定されているような気持ちになることも、正直あります。

でも、そんな中で試行錯誤(という名の残業)していると、ふとインゼミ漬けた大学3年生の夏を思い出すことがあります。「ゼミ」くらいしか共通点の見つからないメンバー(←笑)とのコミュニケーションがうまく取れない、毎日グル学に籠って議論しているのに全く前に進まない、気持ちばかりが焦って、どう努力したら良いのかわからない…。その後インゼミがどうなったかは当時の活動後記に記した通りですが、今回の赴任も、ああ、あの時と同じだな、と思うのです。「異なるバックグラウンドを持つ人たちと何かをやり遂げる」という点で。

そんなことを考えていると、だんだん前向きになってきます。インゼミでの成功体験や、2年間めげずに小野ゼミをやりきったことが、今でも心の拠り所になっているのだと思います。奇しくもシドニー滞りも2年間の期限付き。今はまだ手探り状態ですが、ここでまたひとつ自信を付けて、胸を張って帰国できるよう精進したいと思います。

さて、ここまですごく苦勞してるっぽいことを書いてみましたが、シドニー自体はとても住みやすく、オージー気質のおかげでのんびりとした職場環境⁴故に、拍子抜けするくらいホームシックにかかりません。或いは気が狂ったように旅行⁵に出かけている為、日本が恋しくなる時間が少ないからかもしれません。なによりシドニーの青い空と海を眺めたら、小さいことはどうでもよくなってしまいます。本当に素晴らしい環境ですので、皆様ぜひ遊びに来てください。

そうそう、OB・OG会が開催される直前、第8期女がシドニーに遊びに来てくれます。第7期で同じくシドニー在住の松本さんとのディナーも予定していて、これが目下の楽しみです！思えば札幌時代も2回ほど第8期女が遊びに来てくれたし、ゆみ(中尾さん)が結婚したときには皆で九州旅行に行ったりと、卒業後もなんやかんやで集まっては、皆で近況報告をしたりしています。おばあちゃんになっても、こんな感じでいれたら良いなあと思っています。



ウルルにて登頂祝い

⁴ まず、オージーたちは始業時間になっても全員揃いません。ようやく入社したと思ったら、「チームビルディング」と称して皆でコーヒーを買いに行きます。ランチはたっぷり1時間(たまにビール飲みます)。終業時刻を少し過ぎると残っているのは大体日本人です。私もすっかりこの環境に慣れてしまい、日本でまた働けるのか不安です…

⁵ 来豪半年ちょっとで、ウルル、ゴールドコースト、パイロンベイ、ケアンズ、アデレードに行きました。ワイナリー巡りはハンターバレー2回、パロッサバレー、オレンジへ！完全に豪ドル不足です。